

第147回運営委員会概要 1月21日(水) 18:30~21:00

- ◆会場：柏崎原子力広報センター 1F実験室
- ◆出席委員：新野会長・佐藤副会長  
石坂・三宮・竹内・武本(和)・徳永委員・・・7名  
(欠席：高橋副会長)
- ◆オブザーバー：規制庁／内藤所長、山崎原子力保安検査官  
柏崎市／若月主任  
東京電力／長野副所長、杉山課長、中林副長、徳増主任
- ◆事務局：広報センター／須田業務執行理事、石黒主事

視点第70号内容について(第138回定例会分)

- ・視点第70号(第138回定例会分)の校正を委員で確認。
- ・事務局案の内容に加筆、修正など細かな改善を行った。

次回以降定例会内容について(2月[情報共有会議]・3月・4月)

- ◆3月・4月定例会について
  - 〈議長〉2月は情報共有会議があり、あとは3月、4月で委員の任期が終わる。2月の情報共有会議は、昨年同様の流れとすることで既に決まっているが、あと2回の定例会でどんなふうにとまとめをしていくか。
  - 〈委員〉防災の議論は、今どこまで進んでいるか。
  - 〈議長〉議論のテーマを大きく4つに分けたうち、正式には2つまで終わっている。12月に議論した内容は、除染や賠償から入ったため誤解を与えてしまった。  
今までは事故が起きないことが前提だったために、過酷事故が起きた後の補償と生活再建のところが、法整備の面で細部まで決められていなかった。実際に福島事故が起きて、そここのところが今も問題になっている。ケースバイケースでいろいろな実害もたくさん出ている。  
今後、過酷事故が起きたときの補償や生活再建のことについて決められていくことになると思うが、それに向けて住民がどう思うかというのを地域の会で議論して、住民の意見として、細かなところではなく大枠のところを意見の総意としてオブザーバーに伝えられたらいいと思っている。
  - 〈委員〉現実にはそここのところまで、委員が理解して意見を出していくのは難しいのではないか。
  - 〈議長〉福島事故をみて、本当はどんなところがあればよかったのか、あってほしいというものをいせればいと思うのだが。

〈委員〉被ばく管理みたいなものも必要ではないかと思う。福島事故で帰還困難地域があり、年間20ミリシーベルトという値がラインになっている。

川内村は、居住不能になっているが、被ばく量の高いところに自治体関係者などを中心に帰還している地域もある。

今、原発作業員の年間被ばくは1ミリシーベルト以下がほとんどだが、もっと被ばくしてしまうことを危惧している。

現状を現実的に共通認識にしていくことも必要なのではないか。

〈委員〉いずれにしても、あと3月と4月しかない。

ひとつは福島のことを、発電所が今どのような状況なのか、当初の計画と比べてどのようなことが遅れているのか、順調なのか、というのを共通認識としてまとめておくことも必要。

福島県内の自治体で、帰還している地域、帰還困難区域のところでも昼間は帰っていいとか、泊まるのはダメだとか、そういう基本的なことを教えてもらい、共通認識にした方がよいのではないか。

〈議長〉そういうものは、新年度の委員さんの基礎知識としてやったほうがいいかもしれないと思うが。

〈委員〉3月にある程度の締めくくりをして、4月に福島事故をみて4年経ってどう思うか、ということを一人数人が意見を発表するのでよいのではないか。

〈議長〉3月で防災のまとめをするということであれば、「平時に知っておくべきこと、知りたいこと」ということで進めたい。

4月には、4つのテーマの簡単なレジュメを提示しながら、皆さんから総論ということで柏崎刈羽のこととか、福島のこととか、2年間の委員としての所感も含めながら意見を発表してもらってもいいのかもしれない。

〈委員〉詳細は、2月、3月の運営委員会で詰めていけばいいのではないか。

(委員賛成・了解)

## その他

### ◆ 活動アンケートについて

〈議長〉運営委員は一般委員さんに任せてもらって会の運営をさせてもらっているが、全委員に活動アンケートをとって、1年間どんなことをやっていくか、発電所見学や視察研修を行うか、勉強会を行うか等、アンケートをもとに話し合ってきた。

新年度はどのようなふうにするのか、次年度以降の参考資料としてもらうため配布するのでご協力をお願いしたい。

◆ メディアとの意見交換について

〈議長〉今年度は、毎回、定例会を傍聴していただいているメディアとの懇談会を試験的に行った。(運営委員を中心にほかの委員も数名参加)

メディアの方々も約2年ごとに転勤などで代わる場合も多く、地域の会のことを知らない場合も多い。公正な立場で伝えていただきたいという思いもあって試験的に行ったが、非常に充実した話し合いができたと思う。メディア側からの評判もよく、また開催してほしいという希望もいただいている。

新年度以降も、年に1回でも継続してコミュニケーションを取っていただければと思っている。

(委員了解)

【決定事項】

〈2月定例会・情報共有会議タイムスケジュール〉(案)

- 15:00～15:30 前回定例会以降の動き  
(東京電力・規制庁・エネ庁・行政)
- 15:30～16:30 委員所感表明(3分/一人)
- 16:30～17:30 オブザーバー所感表明(8分/一人)  
(原子力規制庁、資源エネルギー庁、新潟県、  
柏崎市、刈羽村、東京電力)
- 17:30～18:00 総論(まとめ)

次回以降日程について

第140回定例会(情報共有会議)

2月 4日(水) 15:00～18:00

産業文化会館3階大ホール

(同会終了後) 懇親会 18:30～21:00

産業文化会館2階第2会議室

第147回運営委員会 2月18日(水) 18:30～21:00

第141回定例会 3月 4日(水) 18:30～21:00

第142回定例会 4月 8日(水) 18:30～21:00

(第二水曜日です)

**【事務局よりお知らせします】**

● 広報センターの工事について

・ 1月末～3月末頃まで柏崎原子力広報センターの放射線防護対策工事が実施されます。

・ 2月の運営委員会、3月定例会の開催について、現在のところ、会場変更の予定はありません。

・ 万が一、開催場所の変更が必要となる場合はお知らせをさせていただきます。

● 委員改選について

・ 柏崎市および刈羽村より、次期委員の推薦団体について引き続き現在の推薦団体をお願いしたい旨の報告がありました。

これを受け、近々、各推薦団体宛に委員推薦の依頼文書を発送させていただきます。

なお、「柏崎市」の推薦は見直し、別団体を検討しているとの報告もありました。